



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3443 URL https://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	91,805	6.6	3,122	△7.1	4,427	△11.8	3,520	△14.5
2019年3月期第3四半期	86,122	12.0	3,359	41.2	5,020	127.2	4,117	228.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,599百万円 (△15.4%) 2019年3月期第3四半期 4,255百万円 (117.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	599.88	598.01
2019年3月期第3四半期	708.18	704.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	142,265	58,357	40.5
2019年3月期	128,062	55,245	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 57,599百万円 2019年3月期 54,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	1.4	5,400	△11.0	7,200	△15.7	5,200	△14.2	885.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,913,370株	2019年3月期	5,909,170株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	37,770株	2019年3月期	51,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,868,332株	2019年3月期3Q	5,814,516株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	9
受注、販売及び繰越高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高91,805百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益3,122百万円（同7.1%減）、経常利益4,427百万円（同11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,520百万円（同14.5%減）となりました。受注高につきましては69,088百万円（同27.6%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は、橋梁事業において前連結会計年度からの豊富な繰越高を受け、国土交通省、高速道路会社発注をはじめとした大型工事が順調に進捗し、また鉄骨事業においても首都圏再開発工の製作が順調に推移したことにより、全体では45,267百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。損益面は、鉄骨事業において当第3四半期までに大型工事の設計変更を獲得できたことに加え、原価低減が図れたことにより高い利益水準を維持することができた一方で、橋梁事業において一部工事で設計変更に伴う原価の増加があった中、当第3四半期連結会計期間での設計変更の獲得までには至らず、結果として原価が先行した工事があったことや工程が逼迫した工事において採算が悪化したことから、営業利益2,648百万円（同34.3%減）となりました。受注高は、鉄骨事業において当第3四半期に首都圏大型工事の受注を計上することができ、前年同期を上回ることであったものの、橋梁事業において発注量が前年同期に比べ減少する中、受注競争が激化し、結果として前年同四半期を下回り、鉄構セグメントの受注高は27,834百万円（同24.9%減）となりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、床版取替工事の更新事業が順調に進捗したことに加え、当第3四半期連結会計期間に完成を迎えた大型工事の竣工時設計変更が獲得できたことにより、売上高は25,483百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。損益面は、当第3四半期連結会計期間において設計変更の獲得ができたことで、結果として採算性が改善した工事が増え、営業利益は1,200百万円（前年同四半期は営業損失201百万円）と大幅に改善しました。受注高は、選別受注を行ったこともあり、前年同期より減少したものの、国土交通省、都道府県を中心に受注を積み重ねることができたことで23,398百万円（前年同四半期比22.9%減）となりました。当第3四半期連結会計期間における次期繰越高は前年同四半期を上回る高い水準を維持しています。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、前連結会計年度からの豊富な繰越高を受け、システム建築及びS造建築の大型工事が概ね順調に進捗したことにより、売上高は14,803百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。損益面は、システム建築をはじめとした工事の損益が改善したものの、事務所移転に伴い管理費が増加したことにより、営業利益905百万円（同4.5%減）となりました。受注高は、ターゲットとしている案件の発注が当第4四半期に多いことから、前年同四半期を大幅に下回り、8,531百万円（同53.5%減）となりました。

（その他）

その他におきましては、売上高は8,844百万円（前年同四半期比0.5%減）となり、損益面につきましては、営業利益278百万円（同23.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」は142,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,203百万円（+11.1%）増加しました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が14,624百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は83,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,090百万円（+15.2%）増加しました。これは主に、短期借入金が14,527百万円増加及び未成工事受入金が2,472百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は58,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,112百万円（+5.6%）増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が2,934百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.6%から40.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月14日公表の連結業績予想を修正しています。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,714	7,494
受取手形・完成工事未収入金等	46,432	61,056
未成工事支出金	1,408	2,729
その他のたな卸資産	1,014	1,339
その他	5,510	6,002
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	65,073	78,616
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,746	5,984
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	2,494	3,226
航空機(純額)	977	899
土地	14,889	14,920
リース資産(純額)	1,895	1,714
建設仮勘定	1,596	204
有形固定資産合計	27,601	26,950
無形固定資産		
	755	863
投資その他の資産		
投資有価証券	2,530	2,651
関係会社株式	29,402	30,833
長期貸付金	418	415
繰延税金資産	1,904	1,515
その他	1,037	1,073
貸倒引当金	△660	△652
投資その他の資産合計	34,631	35,836
固定資産合計	62,988	63,649
資産合計	128,062	142,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	28,112	31,295
短期借入金	2,932	17,460
1年内返済予定の長期借入金	5,445	5,063
1年内償還予定の社債	70	10
リース債務	723	558
未払法人税等	2,004	98
未成工事受入金	8,002	5,530
賞与引当金	2,133	1,068
完成工事補償引当金	260	252
工事損失引当金	1,211	1,223
その他	5,596	4,709
流動負債合計	56,493	67,270
固定負債		
社債	105	100
長期借入金	9,190	9,452
リース債務	1,256	1,263
繰延税金負債	52	101
再評価に係る繰延税金負債	1,476	1,476
役員退職慰労引当金	470	481
退職給付に係る負債	3,322	3,357
資産除去債務	205	205
負ののれん	151	136
その他	94	64
固定負債合計	16,324	16,638
負債合計	72,817	83,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,271	5,280
資本剰余金	10,746	10,767
利益剰余金	35,018	37,952
自己株式	△197	△105
株主資本合計	50,838	53,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,710	1,776
土地再評価差額金	980	980
為替換算調整勘定	499	502
退職給付に係る調整累計額	498	445
その他の包括利益累計額合計	3,687	3,704
新株予約権	2	2
非支配株主持分	716	755
純資産合計	55,245	58,357
負債純資産合計	128,062	142,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	86,122	91,805
売上原価	76,582	81,223
売上総利益	9,540	10,582
販売費及び一般管理費	6,180	7,460
営業利益	3,359	3,122
営業外収益		
受取利息及び配当金	44	57
受取賃貸料	111	110
負ののれん償却額	15	15
持分法による投資利益	2,004	1,613
補助金収入	67	58
その他	121	157
営業外収益合計	2,365	2,013
営業外費用		
支払利息	268	230
賃貸費用	338	349
その他	97	128
営業外費用合計	704	707
経常利益	5,020	4,427
特別利益		
固定資産売却益	115	-
補助金収入	-	1,401
特別利益合計	115	1,401
特別損失		
固定資産売却損	13	-
固定資産圧縮損	-	1,401
特別損失合計	13	1,401
税金等調整前四半期純利益	5,122	4,427
法人税、住民税及び事業税	626	456
法人税等調整額	305	392
法人税等合計	931	848
四半期純利益	4,190	3,579
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,117	3,520

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,190	3,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	70
退職給付に係る調整額	△50	△108
持分法適用会社に対する持分相当額	△62	58
その他の包括利益合計	64	20
四半期包括利益	4,255	3,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,183	3,537
非支配株主に係る四半期包括利益	72	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,458	22,997	14,233	77,689	8,433	86,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	351	560	4	917	457	1,374
計	40,809	23,558	14,238	78,606	8,890	87,497
セグメント利益又は損失(△)	4,031	△201	948	4,778	225	5,003

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,778
「その他」の区分の利益	225
セグメント間取引消去	△119
全社費用(注)	△1,821
その他の調整額	296
四半期連結損益計算書の営業利益	3,359

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,530	24,212	14,620	83,364	8,441	91,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	736	1,270	182	2,190	403	2,593
計	45,267	25,483	14,803	85,554	8,844	94,399
セグメント利益	2,648	1,200	905	4,755	278	5,033

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,755
「その他」の区分の利益	278
セグメント間取引消去	170
全社費用(注)	△2,030
その他の調整額	△51
四半期連結損益計算書の営業利益	3,122

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	37,040	38.8	27,834	40.3	△9,206	△24.9
土木	30,366	31.9	23,398	33.9	△6,968	△22.9
建築	18,337	19.2	8,531	12.3	△9,805	△53.5
その他	9,617	10.1	9,323	13.5	△293	△3.1
合計	95,362	100.0	69,088	100.0	△26,273	△27.6

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	40,809	46.6	45,267	47.9	4,458	10.9
土木	23,558	26.9	25,483	27.0	1,924	8.2
建築	14,238	16.3	14,803	15.7	564	4.0
その他	8,890	10.2	8,844	9.4	△46	△0.5
合計	87,497	100.0	94,399	100.0	6,901	7.9

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (2018年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (2019年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	82,700	57.0	70,711	53.1	△11,989	△14.5
土木	39,289	27.1	48,245	36.2	8,956	22.8
建築	21,363	14.7	12,315	9.2	△9,047	△42.4
その他	1,819	1.2	1,989	1.5	170	9.4
合計	145,172	100.0	133,262	100.0	△11,910	△8.2

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。